

## 放射線を知る・震災後の心を癒やす

福島第一原発事故以降、私たちの生活の中で放射能・放射線は、切りたくても切り離せないものになりました。放射線とは何か、どう対応していけばいいのか。そのために現時点でわかっていることについて、さまざまな意見を知ることが大切です。

※ このリストの資料は各図書館にて、展示用としてセットでの貸出しを行なっております。

### 放射線・放射能を知る

放射線とのつきあい:老科学者からのメッセージ	岡野 眞治/著	かまくら春秋社	2011	LS429.4/O1/1
福島第1原発事故後の現地に向かい、放射線を測り続ける科学者の著書。放射線との歴史、放射線の種類や測定法などを紹介。				
放射能から家族を守る本:出産・子育てもこれで安心(EIWA MOOK)		英和出版社	2011	LS493.19/E1/1
低線量被曝のモラル	一ノ瀬 正樹/共編著	河出書房新社	2012	LS493.19/I3/1
今ある放射能を消す食事	金谷 節子/監修	主婦と生活社	2011	LS493.19/K2/1
内部被曝の真実(幻冬舎新書)	児玉 龍彦/著	幻冬舎	2011	LS493.19/K6/1
内部被曝研究の第一人者が、政府の対応を厳しく批判しつつ具体的な対策を提言した、国会でのスピーチを全文採録。				
見えない恐怖:放射線内部被曝	松井 英介/著	旬報社	2011	LS493.19/M1/1
放射性物質と内部被曝の関係、放射性物質や放射線をめぐる歴史的な事件や国際的な関係などを解説。第1章は「福島原発事故による健康障害」。				
福島原発事故放射能と栄養	白石 久二雄/著	ミヤオビバブリッシング	2011	LS493.19/S1/1
25年前のチェルノブイリ原発事故後に訳本『チェルノブイリ:放射能と栄養』を自費出版。今回、キエフの原著者の了解を得て「姉妹本」として出版。				
福島原発事故:内部被ばくの真実(長崎新聞新書)	柴田 義貞/編集	長崎新聞社	2012	LS493.19/S18/1
放射能汚染ほんとうの影響を考える:フクシマとチェルノブイリから何を学ぶか(DOJIN選書)	浦島 充佳/著	化学同人	2011	LS493.19/U1/1
内部被曝(岩波ブックレット)	矢ヶ崎 克馬/著	岩波書店	2012	LS493.19/Y4/1
放射能汚染から家族を守る食べ方の安全マニュアル:食材別の選び方・落とし方・食べ方が一目でわかるイラスト版 青春新書PLAY BOOKS	野口 邦和/著	青春出版社	2011	LS498.5/N3/1
放射能汚染食品、これが専門家8人の食べ方、選び方	野口 邦和/ほか著	東洋経済新報社	2011	LS498.5/N3/2
これから何を、どう食べていけばいいのかを各分野のスペシャリスト8人が徹底的にわかりやすく解説。本当に信頼できる専門家かつ複数の専門家を選ぶため、吟味を重ねて執筆依頼した先生方の意見。				
食の安心 何をどう守るのか:総力取材!(NHK出版新書)	NHKスペシャル「日本新生」取材班/著	NHK出版	2012	LS498.5/N4/1
放射性物質除去の最新技術から食品流通の改革、生産者と消費者の融合まで、徹底取材からの提言。				
避難する権利、それぞれの選択:被曝の時代を生きる(岩波ブックレット)	河崎 健一郎/著	岩波書店	2012	LS543.4/K30/1

福島原発事故の検証と環境放射能汚染	森田 昌敏／責任編集	環境コミュニケーションズ	2011	LS543.4/M10/1
ホットスポット:ネットワークでつくる放射能汚染地図	NHK ETV特集取材班/著	講談社	2012	LS543.4/N14/1
NHK教育テレビで平成23年5月に放送された同名番組をまとめたもの。原発事故直後から取材を開始、木村真三博士と岡野眞治博士が放射線測定に尽力、福島市や飯舘村の当時の状況と二本松市の除染の取り組みが書かれています。				
放射線のひみつ:正しく理解し、この時代を生き延びるための30の解説	中川 恵一／著	朝日出版社	2011	LS543.4/N24/1
スウェーデンは放射能汚染からどう社会を守っているのか	高見 幸子／共訳	合同出版	2012	LS543.4/T25/1
放射能と生きる(幻冬舎新書)	武田 邦彦／著	幻冬舎	2011	LS543.4/T6/4

## 原発事故と子ども

原発事故と子どもたち:放射能対策ハンドブック	黒部 信一／著	三一書房	2012	LS493.19/K4/1
チェルノブイリから学んだお母さんのための放射能対策BOOK:チェルノブイリ被災児童の保養活動から学んだ子どもたちを守るためのからだところのケア	野呂 美加／著	学陽書房	2011	LS493.19/N2/3
放射能の中を生きるベラルーシ人のために、ベルラド放射能安全研究所が放射能汚染に対処する方法をまとめたものを日本語版に編集したもの。日本語版だけのコラムも収録。				
放射能からママと子どもを守る本:放射線防護学の第一人者が教える、見てすぐできる安心対策	野口 邦和／著	法研	2011	LS493.19/N4/1
ママや子どもたちの生活に即して、放射能から身を守る方法をイラストを使ってやさしく解説。放射性物質を減らす調理法など食品ごとに掲載されている。				
放射線から子どもの命を守る(幻冬舎ルネッサンス新書)	高田 純／著	幻冬舎ルネッサンス	2011	LS493.19/T1/1
あの日からのお母さんのしごと:わが子を放射能から守る知恵と工夫	境野 米子／著	ワニ・プラス	2012	LS498.5/S1/2
自分と子どもを放射能から守るには:日本語版特別編集	ウラジーミル・バベンコ/著	世界文化社	2011	LS498.5/U1/1
放射線になんか、まけないぞ!:イラストブック	坂内 智之／文	太郎次郎社エディタス	2012	LS543.4/B2/1
放射線に対する日々の注意点、放射線の基礎知識、除染の進め方などを、イラストを交えて子ども向けにやさしく説明します。				
福島の子どもたちからの手紙:ほうしゃのうっていつなくなるの?	KIDS VOICE／編	朝日新聞出版	2012	LS543.4/K17/1
福島の子どもたち56人が、自身の思いを書いた絵や作文を紹介。				

## 震災ストレスを考える

被災地の子どもの心に寄り添う:臨床心理学からのアドバイス(早稲田大学ブックレット「震災後」に考える)	本田 恵子／編著	早稲田大学出版部	2012	LS371.4/H3/1
震災の「心の傷み」を癒す方法:気持ちがふさぐ、眠れない、イライラする…	倉成 央／著	大和出版	2011	LS493.7/K2/1
災害ストレスから子どもの心を守る本	内海 裕美／監修	河出書房新社	2011	LS493.9/U1/1

福島県立図書館では、東日本大震災福島県復興ライブラリーを開設し、震災及び原発事故の体験記・手記や、関連する資料を収集しています。小冊子や広報紙等も収集の対象になります。発行された際には、ご寄贈（各2部）へのご協力をお願いいたします。